

阪神・淡路大震災から15年

いま改めて学ぶ 安全・安心のまちづくりとは

神戸親和女子大学教授 **上羽 慶市** × 作家 **幸田 真音**



日本のまちかど
再び甦ったハイカラな街
神戸居留地
リードし続ける国際都市の風景

全国団地景観サミット2009 UR賃貸住宅『団地景観フォトコンテスト』審査結果

今回の「団地景観フォトコンテスト」には、954点の作品の応募がありました。その中から、厳正なる審査のうえ51点の入選作品を決定しました。

コンテストの審査においては、規程審査を通過した作品を、写真だけでなく作品のタイトル及びメッセージについても評価対象とし、総合的に評価しました。

応募いただいた作品はいずれも秀逸で、UR都市機構として、これまで育ててきた団地景観や、団地の建替えにより再生された団地景観について、改めて考えさせていただきました。作品から伝わる団地への想いを通じ、新たな視点で団地の価値を認識することができました。

今回、最優秀賞と各部門の金賞作品をご紹介します。その他の作品についてはUR都市機構ホームページ (<http://www.ur-net.go.jp/urbandesign/>)をご覧ください。

最優秀賞

今回の最優秀賞は、団地での結婚式を開催した母娘お二人の作品を、組写真の1作品として決定いたしました。(団地×コミュニティ部門)



「生まれ育った場所で」
武川 友布貴 様 グリーンヒルズ東久留米(東京都)

〈応募者メッセージ〉
団地で生まれ育ち35年目。集会所で結婚式を挙げました。介護中の父の為選んだ集会所でしたが「名前も知らない近所のオジサン、オバサン」も祝福してくれました。他人の祝事を共有し喜ぶ人間の暖かさを心に刻みました。



「寿」
佐藤 綾子 様 グリーンヒルズ東久留米(東京都)

〈応募者メッセージ〉
娘の結婚式、しかも団地の集会所で。招待してない友人もフラッと覗いて祝ってくれました。子育て中の日々を懐かしく想い、団地の人々に育ててもらった事を感謝し、団地で子育てしてきた事を幸せに思っています。

団地×自然部門

金賞



「お台場の春、ゆりかもめに会おう」
山中 藤子 様
シーリアお台場一番街 (東京都)

〈応募者メッセージ〉
自然との共生が叶ってこそ、世界の先を駆けるメトロポリタンとなる。
TOKYO、お台場のこの湾岸のタウンに集う、遠い海を渡ってきた鳥たちにこうして会う。すばらしい、ひとときだ。

団地×コミュニティ部門

金賞



「団地で育った幼馴染」
平賀 輝明 様
神代 (東京都)

〈応募者メッセージ〉
今も同じ団地に住む幼馴染なのに20年ぶりに再会した同窓会帰り道。道路に仰向けのセミを見つけて助けている二人。もう無邪気に虫に触れなくなっていた二人のぎこちない姿勢が団地で育った時の流れを感じさせます。

団地×建物部門

金賞



「雪後の団地」
白井 正一 様
入間駅前プラザ (埼玉県)

〈応募者メッセージ〉
昨日降った雪がまだ団地内及び裏側の林に残っていますが、団地の建物にはさんさんと日がそそぎ各部屋では明るい楽しい朝を迎えています。

information

今年も「全国団地景観サミット2010」を開催します!

団地の中のランドスケープ空間が創りだす景観、団地を舞台にしたコミュニティ行事(花見、夏祭りなど)、団地景観として建物を捉えた風景など、四季折々の写真やスケッチ(予定)作品のご応募をお願いします。

詳しくはホームページに今後掲載予定です。

(上)団地×建物部門 銀賞「三角ぐるぐる」古町 哲 様
(下)団地×コミュニティ部門 銀賞「道端」浅井 誠章 様



みんなで止めよう温暖化

「UR都市機構」チーム・マイナス6%